

# 達成状況報告書（案）に対する意見回答

資料 1 1

事業番号	意見	回答	所管課
2	開催した3回のそれぞれのテーマも記載してほしい。	<p>第1回目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度障害者総合支援計画の実施状況等について</li> <li>・「新しい生活様式」における障害者への配慮に関する啓発について</li> </ul> <p>第2回目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルの活用とその課題について</li> <li>・障害者のスポーツ活動について</li> <li>・選挙における合理的配慮について</li> </ul> <p>第3回目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コロナ禍において生じた困りごと」を解決するために、どのような配慮や支援が必要かについて</li> <li>・変異株の発生によって新たに生じた困りごと（どのような場面で、どのようなことがあったか）について</li> </ul>	障害政策課
8	「全庁の職員を対象」とあるが、全職員が受講したという事か。（全員でなければ、受講者数（受講割合）を記載してほしい。 市長・幹部職員対象の研修について、参加者数を記載してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修：各課1名以上受講することとして実施。受講者数460名</li> <li>・幹部職員研修：市長、副市長等の特別職のほか、局長・区長等の幹部職員を対象として実施。受講者数36名</li> </ul>	障害政策課
9	アンケートの回答数を記載してほしい。	アンケートの回答数については、障害のある方ご本人やご家族、障害者団体から53件、障害福祉サービス事業所から29件、そのほか、保育園・幼稚園・学校等からを含め、全95件の回答数となりました。	障害政策課
9	障害者やその家族、障害福祉サービス事業所、教育機関等のアンケート調査はどのくらいの規模で	障害のある方やその家族からの回答については、さいたま市障害者協議会に加盟する団体を経由して周知した他、障害福祉サービス事業所や各教育機関等か	障害政策課

	行ったのか、またどのくらいの割合でどのような回答があったのか知りたいと思います。	ら当事者へ案内していただくよう実施しました。当事者やその家族については、母数がわからないため、回答割合はわかりません。障害福祉サービス事業所については、市内の全事業所、教育機関については市立小中学校、特別支援学校、さいたま市を学区とする特別支援学校 PTA、市内全保育施設、大学等を対象として調査しました。いずれも匿名回答としているため、調査対象を母数とする回答割合は算出できません。	
10	ホームページ掲載+アンケートとのことだが、受講者数を記載してほしい。 オンラインの市職員研修についても参加者数及び参加率を記載してほしい。	ホームページ上に資料を掲載する形式で実施したため、受講者数とのカウントをすることは難しいですが、アンケートについては、177 名に回答いただきました。 市職員研修については、各課 1 名以上の参加として実施し、460 名の参加がありました。	障害政策課
12	ホームページ掲載+アンケートとのことだが、受講者数を記載してほしい。 オンラインの市職員研修についても参加者数及び参加率を記載してほしい。	ホームページ上に資料を掲載する形式で実施したため、受講者数とのカウントをすることは難しいですが、アンケートについては、224 名に回答いただきました。 <b>【以下障害政策課回答を引用】</b> 市職員研修については、各課 1 名以上の参加として実施し、460 名の参加がありました。	障害支援課
13	研修の対象は事業所職員だと思うが、念のため記載してほしい。	本研修は本市職員、地域包括支援センター職員及び障害者生活支援センターを対象として開催しているものです。	高齢福祉課、障害支援課
14	評価事項ではないが、市民後見人の後見人等選任事例があれば件数を教えてほしい。	令和 4 年 3 月末時点の市民後見人の後見活動受任件数は累計：6 件、現受任件数：3 件となります。	高齢福祉課、障害支援課
16	乳幼児発達健康診査の受診は、児童虐待防止の観点からも重要であるので、念のため確認したい。 記載内容は、対象となる乳幼児は全員受診したという理解でよいか。	各区保健センター保健師が、乳幼児健康診査や育児相談などで把握し、乳幼児発達健康診査の受診が必要と判断した乳幼児については、全て受診につなげることができています。ただし、保健師が把握するに至っていない乳幼児も潜在していることは考えられ、相談につなげることができるよう、育児相談など各種事業の啓発を実施しているところです。	地域保健支援課

19	<p>「初診待ち期間」の実績が 61 日で、59 日に短縮する目標に対して実績が 61 日である。</p> <p>これを <math>59 \div 61 = \text{達成率 } 94.9\%</math> と考えのはおかしいと思う。2 日短縮を目標として、1 日延びてしまったので、状況は悪化したと考えて、対策を検討すべきである。</p>	<p>達成状況については、次の式にて算定し、市のルールに基づいての数値になりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p> $1 + \{1 - (62/59)\} = 0.949$ <p>初診待ち期間については、想定を上回る診察の希望があったことから目標を達成できませんでした。令和 4 年度以降につきましては、キャンセル枠の有効活用など柔軟に対応することで目標値の達成に努めてまいります。</p> <p>特に抜本的な解消策となり得る新療育センターを計画どおり運営できるよう取り組んでまいります。</p>	<p>総合療育センターひまわり学園 総務課・医務課、 療育センターさくら草</p>
26	<p>「支給件数：566,751 件」の意味は「延件数」（該当する医療の延べ月数）という理解で良いか。また、もし支給実人員が分かれば記載してほしい。（不明ならよい）</p>	<p>支給件数は、令和 3 年度に医療機関や受給者から請求され、支給した件数です。また、支給実人員の算出は難しいですが、令和 3 年度の受給者数（有効な資格を持っていた人数）は 19,701 人です。</p>	<p>年金医療課</p>
30	<p>精神科救急情報センターの対応件数を記載してほしい。</p>	<p>○令和 3 年度精神科救急電話件数 8,460 件（うちさいたま市：998 件）</p>	<p>健康増進課</p>
35	<p>④の参加者数を記載してほしい。</p>	<p>④令和 3 年度における発達障害者社会参加事業の利用登録者数は 21 人で、延べ利用者数は 355 人でした。</p>	<p>障害政策課、障害者総合支援センター、総合療育センターひまわり学園育成課、療育センターさくら草、子ども家庭総合センター子ども家庭支援課</p>
38	<p>下層階への住替え及び車いす住居提供について、それぞれの実績を記載してほしい。</p>	<p>令和 3 年度の下層階への住替え実績は 5 件、車いす住居提供の実績は 1 件です。なお、車いす住居については、新築及び既存の住戸で、車いす用に整備された空き住戸への入居実績です。</p>	<p>住宅政策課</p>

39	要配慮者に賃貸住宅入居支援の案内の配布、情報提供を行った結果、どれほどの人が住まいを確保することができたか不明。	取組の結果、住まいを確保できた方の数としては把握しておりませんが、協力不動産店等の情報提供を行っても、転居先が決まらなかった方に対して、居住支援法人等に住まい探しのお手伝いを依頼し、入居に繋げております。	住宅政策課
42	申込機関：21 か所とあるが、参加機関数も記載してほしい。	申込機関、参加機関ともに 21 カ所です。	こころの健康センター
45	各障害者相談員の委嘱人数を記載してほしい。	令和 3 年度の委嘱人数は、身体障害者相談員 14 名、知的障害者相談員 7 名、精神障害者相談員 10 名、発達障害者相談員 2 名、難病患者相談員 2 名となっております。	障害支援課
46	聴覚障害者相談員の位置づけは、職員（非常勤など）なのか委託による実施なのか記載してほしい。また、相談件数についても記載してほしい。	本事業は、委託事業となっているため、相談員の雇用形態は、委託先団体の規定により決定されています。 令和 3 年度の相談件数は、370 件となりました。	障害支援課
47	モデル事業の窓口における相談件数について記載してほしい。	令和 3 年 6 月から、大宮区、中央区、浦和区、岩槻区の 4 区でモデル事業として実施し、10 カ月間で合計 1,095 件の相談に対応しました。相談内容を整理し、区役所健康福祉部各課はじめ、社会福祉協議会区事務所、地域包括支援センター、ジョブスポット等、幅広い窓口につなぎました。	福祉総務課
54	種々の研修について記載があるが、それぞれの参加者数について記載してほしい。	<p><b>【必修研修】</b></p> <p>初任者研修「特別支援教育の理解と指導」（小・中・高等・中等教育）256名、特別支援教育担当教員に対する専門研修20名</p> <p>初めて教職に就く臨時的任用教員研修「特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導方法」（小・中・高等・中等教育）124名、「さいたま市の特別支援教育」（特別支援教育担当）31名「特別支援教育の授業づくり」（特別支援教育担当）24名「個のニーズに合わせた特別支援教育」（特別支援教育）33名</p> <p>5年経験者研修（特別支援教育担当教員）16名</p> <p>中堅教諭等資質向上研修（特別支援教育担当教員）14名</p> <p><b>【推薦研修】</b></p> <p>教育経営研修：40名</p>	教育研究所

		<p><b>【希望研修】</b></p> <p>特別支援教育を担当する若手教員のためのキャリア教育研修会：10名  臨任者のための基礎講座（特別支援教育）20名  臨任者のための授業づくり講座（特別支援教育）8名  基礎から学ぼう発達障害研修：112名  初めて特別支援教育に携わる先生のための研修会：34名</p>	
55	研修を20回実施とあるが、参加者数について記載してほしい。	全ての管理職、特別支援学校担当者、特別支援学級担当者、通級指導教室担当者、特別支援教育コーディネーターを対象として、のべ2726名が参加いたしました。	特別支援教育室
60	「取組み内容」の記載がわかりづらいので、内容ごとに分けてほしい。（新聞、雑誌及び広報と、各区の情報及び見どころは別の方法で提供されているのか、点字図書館を通して提供されているのか不明）「提供」の方法について、個人への送付なのか、区役所などへの配置なのか、点字図書館で提供されるのか、など記載してほしい。	本事業は、点字図書館において提供したものととなります。	障害支援課
61	音声データおよびデージーCDの配布件数を記載してほしい。	視覚障害有権者用 110件 公共施設（図書館、障害者生活支援センター、各区支援課等） 120件	選挙課
65	WEB開催のワークフェア2021について、参加者数が把握可能であれば、記載してほしい。	WEB開催で行いました「埼玉県高齢・障害者ワークフェア2021」の参加者数は1,283人（閲覧者数）となります。	障害支援課、障害者総合支援センター
66	庁内での調達件数について、従前205件であったものを目標225件として実績は204件であった。これを $204 \div 225 =$ 達成率90.6%とするのはおかしいと思う。 従前205件を225件に増やそうとしたが、逆に1	障害者総合支援計画の達成状況の評価基準に基づき評価いたしました。	障害支援課、障害者総合支援センター

	件減ってしまったのだから未達成として対策を考えるべきではないか。		
69	在宅における就労中にも拡大された支援の件数を、把握しているのであれば記載してほしい。	令和3年度は7件の実績がありました。	障害支援課
71	オンラインでバリアフリー体験談を聞く機会について、可能であれば参加者数を記載してほしい。	さいたま市立日進北小学校の5年生を対象に実施し、136名からアンケートの回答を得ました。	福祉総務課
74	従前2かあったが令和3年度に2か所整備できたことで4か所となった。現計画では、令和4年度に1か所、5年度に1か所で4か所とする目標であった。すでに達成として整備をしないことになるのか、今後も増やしていくのか記載してほしい。	前倒し施工ができ、成果指標の2か所整備は達成したが、令和4年度1か所、令和5年度1か所の単年度ごとの目標も達成させたく、新たな整備箇所を検討してまいります。	都市公園課
76	評価理由に「対象者の拡大」とあるので、取り組み内容に拡大の内容を記載してほしい。 また、タクシー利用料金と燃料費助成のそれぞれの件数を記載してほしい。	精神障害者保健福祉手帳2級、身体障害者手帳3級又は療育手帳Bのうち、いずれか2つ以上が交付されている方を、新たに両事業の助成対象者としました。延べ助成件数は、タクシー：144,312件、燃料費：4,420件。	障害支援課
83	5競技のスポーツ教室を開催したとあるが、開催回数と参加人数を記載してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ教室：11名参加</li> <li>・フライングディスク教室①：8名参加</li> <li>・フライングディスク教室②：12名参加</li> <li>・陸上教室：9名参加</li> <li>・サッカー教室：8名参加</li> <li>・一般卓球教室：14名</li> </ul>	障害政策課
87	参考のため、避難行動要支援者名簿の提供についての同意率がどのくらいなのか、ご教示願いたい。	令和3年度の名簿外部提供同意率は、52.23%です。	防災課、障害支援課、福祉総務課